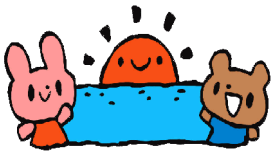


## あけましておめでとうございます



～新しい年に夢と希望を～

子育て支援センタースタッフ一同



あけましておめでとうございます。昨年、6月には利用者2万人の達成など、皆様に支えられ、無事に1年を終えることができました。ありがとうございました。今年も皆様のお役に立てるよう、精一杯努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【今年の干支は？】 2020年の「庚子」の特徴は？

**子** 2020年は十二支(じゅうにし)でいうと子年(ねどし)です。動物に例えると“ねずみ”ですね。また十干(じっかん)では「庚(かのえ)」です。干支(えと)は十干と十二支の組み合わせですから、2020年の干支(えと)は「庚子(かのえ・ね)」となります。さて、「庚子」の「庚(かのえ)」の意味は、植物の生長が止まって新たな形に変化しようとする状態を表すそうです。また、十二支でいうと、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だそうです。つまり、「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりといえそうです。

今年は、新しい運気のサイクルの始まりであり、未来への大いなる可能性を秘めた年といえそうです。みなさんもお子さんの成長を感じ、新たなすばらしい発見や大きな喜びもあることと思います。今年もみなさんにとって良い年となることでしょう。



### ～子育てワンポイントアドバイス～ 「これからの子育て」～視野を広げて～

今、私たちの周りには世界のさまざまな人やニュース、もので溢れかえっています。つまり、お話の世界でも、食べものでも、身のまわりのもの・こと、どんなものも世界中の国の話ができる世の中です。子どもに外国語を教えることも大切ですが、子どもたちが自分の思いや考えをしっかりと表現でき、等しく相手を理解する力と心を養いましょう。そして自分の生まれ育った市や町を語れることはもっと楽しいことです。日本はこれからもっと外国の人と接することが増えるでしょう。子どもたちには自分のふるさとや日本の良さを知り、日本を誇りに思い、豊かな心を持ち、外国の人とも等しく接することができるようになってほしいですね。



### ～子育て支援センター「でんでんむし」の12月のイベントから～



#### 「子育て講話」12日(木) 講師:佐賀女子短期大学 教授 相浦雅子先生

講座の中で、「人の育ちはピラミッドであり、土台を広く大きく作ることが大切である。特に0～1歳半までは、優しく言葉をかけ、赤ちゃんが満足するまで関わる。そのことで、赤ちゃんに“愛着形成”が生まれ、これが親子の信頼関係となり、生きていく



上で重要な自己肯定感を育むことになる。またイヤイヤ期は反抗期ではなく、子どもの自己主張期であり、子どもに伝えることは成人後の精神的自立・経済的な自立に繋がる…」などが心に残りました。参加された方からも身近なことで分かりやすかったなどかなり好評でした。



#### 第5回「ママカフェ」5日(木)

今回は13組、28名の参加でした。お友だちを誘っての参加もありました。みなさんでお菓子をつまみ、お茶を飲み…。子どもたちも楽しんでくれました。

最後はみんなで記念写真。はっポーズ!



## 今月のメニュー



☆連絡先 多久市児童センター内 子育て支援センター ☆

9日 「ママカフェ」

9日 14:30～「食育相談会」

・講師:佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生

16日 10:30～「子育て講話」

・講師:佐賀女子短期大学 教授 水田茂久先生

21日 10:30～「お誕生日おめでとう」※児童館と合同

23日 10:30～「有害情報セミナー」

※全ての講座、イベントで託児あります。

[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いっぬ)

